

保護者会報告

2009.2.10 稲荷森保育園
運営委員会代表 福嶋浩之
園長 藤本幸子

平成21年2月8日(日)、保護者50名(父7名、母43名)、運営委員2名、園長、職員3名、OB会(いなほ会)2名計58名の出席のもと、存続を決定した経過報告のための保護者会が開催されました。

まず、福嶋運営委員より、経過報告がありました。

〈要旨〉7月の閉園発表以来、ご心配をおかけしましたが、12月につなぐ会からの提案を受け、先生たちの続けるという意志を確認し、存続検討委員会(園、保護者(つなぐ会)、OB会(いなほ会))を立ち上げ検討を重ねてまいりました。

その結果、存続が可能と判断し、まずは、一番重要な園児確保と併行して、稲荷森保育園が長期にわたって存続するための方策を考えていくこととなりました。

非常利団体として、財務内容の明確化、社会的な信用、税対策など考えるとNPO法人化を検討していくこととなりました。

以上

そのあと、NPOの補足説明、いなほ会の動きについて、職員代表林先生のことばがあり、質疑応答となりました。活発な質疑応答のあと、全員で存続にむかって力を合わせていきましょうと拍手で閉会となりました。

貴重な休日でしたが大勢の方にご参加いただきありがとうございました。新たな出発にむけて、今後共あたたかいご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

〈質疑応答の要旨〉・問い、意見 一 答え

- ・園長の進退について—運営委員会に一任してある
- ・NPO法人になるメリット・デメリットは？
—目下検討中である。(資料の閲覧を希望する方掲載板にて) 保育の質を下げない、保育と運営を切り離すためのものである。
- ・2才児の受け入れは可能か？
—21年度から可能だが、人数に制限がある。職員で話し合い、お知らせをする。
- ・園バスがあれば、遠くからも園児が集められるのではないかと—駐車場の問題も含め検討する。
- ・今後の保育料は？—新体制が考えることだが3万円がMAX?
- ・先生方の考え、ことばが聞けてとてもうれしかった。
- ・条件が整ってからでなくても、募金活動を3回に分けてやるというのはいかがでしょうか。来年度からのマイナスが気がかりだ。
- ・OBとして保護者の皆さんの不安を少しでも軽くできるよう、継続的な支援をしていきたいと考えている。
- ・情報の量が少ない。できる範囲で多くの情報開示をしてほしい。
- ・団体よりも人、入れ物より先生の顔がみえる稲荷森が気に入って子どもを入れた。

—存続が決まったので、稲荷森保育園をつないでいくためにみんなで知恵を出し合っていきたい。

※以上、たくさんのご意見の中から一部ですがまとめました。当日、ご出席いただけなかった方に、録音テープを貸し出します。希望の方、藤本まで。